

第6期麻生区区民会議 第1回企画部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成28年10月3日（月）午後3時00分～午後5時35分
- 2 開催場所：麻生区役所第3会議室
- 3 出席者：[委員]

安藤委員、池松委員、石井委員、植木委員、緒方委員、海崎委員、佐藤委員、
佐野委員、菅野委員、鈴木（昭）委員、関根委員、高倉委員、高橋委員、
長岡委員、橋本委員、林委員、松田（基）委員、松田（通）委員、吉垣委員
（欠席）鈴木（隆）委員

[事務局]

井上課長、福島担当係長、鈴木、佐藤、榎本

[コンサルタント]

中島、永野

- 4 傍聴者：なし

- 5 議 事：

（1）第6期区民会議の調査審議課題について

ア 地域課題（アンケート）の確認及びワークショップの進め方について

【説明事項】

- ・コンサルタントより、事前に提出された地域課題（アンケート）の確認及び区民会議の概要、提言までの流れ、ワークショップの手法等について説明。

（主な意見）

- ・アンケートで回答したそれぞれの委員の考える地域課題について、今後どのように議論して取り上げていくのか。→この後のワークショップ内で議論してもらう予定である。

イ 各グループでの意見交換について

ワークショップ（ワールドカフェ方式）により、3つのテーブルに分かれ、ラウンド毎にテーマを変え、席替えを行いながらそれぞれ意見交換を行った。

ウ ラウンド毎に、各グループでの意見交換の内容を発表

[ラウンド1] テーマ：市民活動の活性化・地域の活躍の場づくり

【Aテーブル】

- ・第5期で議論されてきたボランティア情報センターの内容等、さらに深堀してみるのはいかがでしょうか。
- ・ボランティア情報を求めている人へ、情報を集めて、提供をする方法を検討する必要がある。

【Bテーブル】

- ・ボランティアの窓口といった、相談できるところを一本化することが必要。
- ・区内の魅力等、活動していることがわかるようにイベントカレンダーのような形でまとめるのはいかがでしょうか。
- ・共働きの家庭が多い等、PTAの活動に苦勞している。ただし、PTAの問題は麻生区だけでは難しく、7区で検討する必要もあり、教育委員会等との絡みもあるので、関係機関と協働して検討する必要がある。

【Cテーブル】

- ・健康寿命を目指し、高齢者が地域で活躍できる場所が必要。
- ・身近な地域での参加等、ボランティアの参加のハードルを下げる必要がある。
- ・区内の魅力をトータルにつなげるのはどうか。

[ラウンド2] テーマ：地域コミュニティ・地域の居場所・地域防災

【Aテーブル】

- ・ヤングファミリー、共働き世帯への支援として、学校の施設開放を活用できないか。
- ・公園でボール遊びができない等、子どもの遊び場がない。
- ・防災の意識を高めることが必要（自助・互助・共助・公助）。

【Bテーブル】

- ・顔の見える関係性として、地域コミュニティが基本であり、大事である。
- ・地域コミュニティでの子育てについて、子ども文化センターや老人いこいの家の活用等、子育てしやすい環境づくり、意識づくりが必要。
- ・麻生区の山坂が多い地形を考えると、コミュニティバスが必要である。
- ・防災に対する備えについて、地域コミュニティの交流等検討が必要。また、地域防災について、若者・中高生・大学生を取り込むことが必要。
- ・1期～5期の提言内容について、実行状況を確認するのはどうか。

【Cテーブル】

- ・地域作りが大事だという意識づくりが必要。
- ・地域コミュニティでの子育てについて、子どもと高齢者の一緒の居場所や世代間交流の場が必要。
- ・保育園の子どもたちが区内の高齢者施設に訪問して交流するのはどうか。

[ラウンド3] テーマ：麻生区の魅力・まちづくり

Aテーブル

- ・クーポン券やポイント制などで、麻生区の魅力（芸術・文化等）を伝えていくのはどうか。
- ・これまでの区民会議の課題整理を行う必要があるのではないか。

Bテーブル

- ・弱者への取り組み等について、実態調査をするのはどうか。
- ・芸術のまちといった区の魅力をどう伝えるか検討する、魅力PR委員会が必要ではないか。
- ・区のイベント参加者の増やし方について、広報だけではなく、町会・自治会等に協力を依頼できないか。

Cテーブル

- ・都市農業への理解を深める必要があり、農業ボランティア等、地域特性を生かしたボランティア等について検討するのはどうか。
- ・ボランティアについては、相互理解が大切であること。
- ・現在、麻生区の魅力は個々に発信されていることから、麻生区の魅力・特性をまとめて発信することが必要。

(2) 課題の分類について（コンサルタントから意見交換で出された意見の整理）

- ・第1ラウンドでは、ボランティア情報を求めている人への提供方法、ボランティア窓口や相談で

きるところを一つにすること、高齢者については地域の健康長寿を目指す、高齢者の活躍できる場づくりとあって意見が出された。これらを整理すると第5期で検討したボランティア情報センターの深堀を検討したらどうかという意見が多かった。合わせてPTAの活動に苦勞している現状があり、川崎市全域でPTAのあり方についてというものを考えたらどうかという意見があがった。

- ・第2ラウンドでは、コミュニティの範囲で子育てができる環境づくりの意見が出された。その中で施設の活用というところで、子どもたちが来やすい公園づくりなどを検討したらどうかという意見がだされた。生活しやすいまちづくりというところでコミュニティバスという意見が出された。防災については自助、互助の防災について検討したらどうかという意見が出された。
- ・第3ラウンドでは、麻生区の特徴である農業の魅力の発信、芸術のまちの発信、麻生区の魅力をとータルな形で発信などの意見があった。もっと広く麻生区の魅力を知ってもらうためにはどうすれば良いかという意見が出された。また芸術に触れるというところでは、誰でもが芸術に触れるような環境をつくる必要があるという意見が出された。また、麻生区の特徴としては農業が挙げられるが、農業について多くの人に知ってもらうことや、生産者と消費者の相互理解について検討する必要があるのではないかという意見が出された。
- ・これまでの区民会議の第1期～5期までの振り返りも重要ではないかという意見も多くだされた。

(3) 第2回全体会議について

【決定事項】

- ・第1期～第5期までの区民会議提言の進捗状況を事務局でまとめる。
- ・第2回全体会議前までに今日の議論の内容を事務局でまとめ、部会案を事前にお知らせする。

(4) 懇親会について

【説明事項】

事務局から、11月15日（火）第2回全体会議後、レストランあさおで懇親会を開催する旨説明。

(5) 区民会議宛て職について

【説明事項】

事務局から、区民会議からの宛て職について説明。あさお福祉計画推進会議について、今年度で4年間の任期が満了であること、また、まだ専門部会が設置されていないことを踏まえ、継続して高倉委員に依頼をしたいが、よいか。

→よい。

【決定事項】

- ・あさお福祉計画推進会議について、任期満了まで高倉委員に継続してもらうことに決定。

(6) 区民会議交流会について

【説明事項】

事務局から、平成29年2月6日（月）18時からエポック中原で区民会議交流会が開催される旨説明。

以 上